

講演会

～日本文化の源流・奈良 吉野の魅力～

Lecture ~The Source of Japanese Culture・Splendid Nara, Yoshino~

日時：令和2年（2020年）**2月2日**（日）

開場：13：00～

場所：奈良市西部会館市民ホール 学園前ホール
(奈良市学園南3-1-5、
近鉄学園前駅南改札口出てすぐ。
公共交通機関をご利用下さい)

定員：300名

参加費：無料（資料代：300円）

主催：NPO法人 奈良国際協力サポーター
奈良県青年海外協力協会

後援：奈良県、奈良県教育委員会、奈良市、
奈良市教育委員会、吉野町、JICA関西
助成：地域づくり団体全国協議会

講演会：

13:30

開会のごあいさつ

- 13:35～14:35 「日本文化の源流」（日本語で講演）
“The Source of Japanese Culture”
エバレット・ケネディ・ブラウン Everett Kennedy Brown氏
(湿板光画家、日本文化研究者)

ペリー提督とともに来日した写真家を先祖に持ち、その黒船時代の技法で、古きよき日本の面影の世界を撮影するエバレット・ケネディ・ブラウン氏は湿板光画家であり、深い洞察力と慈愛の目でメッセージを伝える国際フォトジャーナリストで日本文化研究者。山伏の修行を重ね、その資格を持つ。



- 14:50～16:40 「天武帝・持統帝の夢と再生の聖地 ～神仙境 吉野～」
“The Holy Land of Dream and Rebirth for Emperor Tenmu and Empress Jito
～The Divine Land Yoshino～”

池田 淳 Ikeda Kiyoshi 氏

(前・吉野歴史資料館館長、現・大阪芸術大学及び
龍谷大学非常勤講師／総本山金峯山寺文化財主任)

天智天皇の崩御前に大津京から吉野に逃れた大海人皇子は、672年の壬申の乱で勝利し、飛鳥浄御原宮で即位して天武天皇となり、様々な制度改革・国づくりに邁進する。天武天皇の後を継いだ持統天皇は、吉野・宮滝を聖地（神仙境）とみなし、30回以上行幸した。それ以降の天皇も吉野宮行幸を行い、この地で数多くの万葉歌が詠まれている。その古代吉野の歴史と魅力を語る。



講演会 ～日本文化の源流・奈良 吉野の魅力～ Lecture ～The Source of Japanese Culture・Splendid Nara, Yoshino～

当日のスケジュール (2月2日 (日))

13:00～	開場
13:30	開会のごあいさつ
13:35～14:35	「日本文化の源流」(日本語で講演) エバレット・ケネディ・ブラウン氏
14:35	休憩
14:50～16:40	「天武帝・持統帝の夢と再生の聖地 ～神仙境 吉野～」 池田 淳氏
16:40	閉会

エバレット・ケネディ・ブラウン Everett Kennedy Brown氏のプロフィール

(湿板光画家、日本文化研究者)

1959年アメリカ・ワシントンDC生まれ。1988年に日本に移住。京都ジャーナル寄稿編集者、文化庁長官表彰(文化発信部門)受賞者、首相官邸や経済産業省クールジャパン官民有識者会議委員など、諸官庁の文化推進カウンセラーを務める。EPA通信社の日本支局長として活躍後、幕末時代の写真技法である湿板光画で「時を超えた日本」の記録に取り組んでいる。世界経済フォーラム(ダボス会議)で首相官邸の依頼により震災復興写真展を行うなど、国内外で定期的に展示会を開催。NHK、ナショナル・ジオグラフィック、ニューヨーク・タイムズ、CNN、ル・モンド、テッドトークなど国内外のメディアに広く取り上げられている。現在は近衛忠大氏と設立した会所プロジェクト理事。京都府観光推進顧問、IBMビジネス&カルチャーリーダー会議の世話人、日本文化デザインフォーラム幹事、駐日アメリカ大使館写真講師など。著書に「俺たちのニッポン」(小学館)、「日本力」(松岡正剛氏と共著・バルコ出版)、「Japanese Samurai Fashion」(赤々社)、「失われゆく日本」(小学館)など。

池田 淳 Ikeda Kiyoshi 氏のプロフィール

(前・吉野歴史資料館館長、現・大阪芸術大学・龍谷大学非常勤講師/総本山金峯山寺文化財主任)

1958年新潟県生まれ。吉野町教育委員会に勤務。2019年から現職。
主な論文・著書に「吉野水分神社における御田の組織と演者」(『埼玉大学紀要』)、「大和の群小猿楽座と奈良阪の翁舞」(『奈良豆比古神社の祭礼と芸能』、奈良地域伝統文化保存協議会)、「吉野猿楽の成立と変遷」(『増補吉野町史』)、「鼻と耳ー前近代慣習法にみる身体器官の役割ー」(『王権と武器と信仰』、同成社)、「山田美濃大夫の後継者たち」(『勝部明生先生喜寿記念論文集』、同論文集刊行会)、「年預の翁詞章の伝来」(『奈良県立橿原考古学研究所論集』第16、八木書店)、「近世後期における年預の動向・年預巴野家を事例として」(『泉森皎先生喜寿記念論集』、同記念会)、「檜垣本猿楽」(『猿楽と面・大和・近江および白山の周辺から』、MIHOMUSEUM)、「群小猿楽座の京都進出と芸能集団の解体」(『京都学研究と文化史の視座』、芙蓉書房出版)、「三輪山々麓の翁舞」(『大美和』136号、大神神社)、「語り伝える吉野の民話」(共著、金壽堂出版)など。

会場案内図 (奈良市西部会館3階市民ホール (学園前ホール))



申込方法:

Eメールまたは往復はがきで、お名前、住所、電話番号、Eメールアドレスを記入して1月25日までにお申し込み下さい。

Eメール(お問合せ先も): naicos@kcn.jp

往復はがき: 下記住所に送付して下さい。

宛先: 〒631-0041奈良市学園大和町5-195
井上宛



主催: NPO法人 奈良国際協力サポーター
奈良県青年海外協力協会